

出張講座の実施について

令和2年5月21日
広島県立美術館

1 趣旨

当館では、美術作品や展覧会の見どころなどをわかりやすく紹介する出張講座を、別紙のとおり、ご用意しています。ご希望に応じて、学芸員がお話をしに伺いますので、地域や学校などにおける鑑賞活動、相互交流の促進にご活用ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、延期・中止する場合があります。

2 実施日時

随時（実施日時の変更をお願いする場合があります。）

3 所要時間

1時間～1時間半程度
（ご希望に応じます）

4 実施メニュー

詳細は、別紙1をご覧ください。

5 ご用意いただくもの

- ・パソコン・プロジェクターなど
- ・講師旅費・材料実費（講演料は不要です）

6 申込方法

- ・申込み期日は、原則、開催希望日の1ヶ月前までとします。
- ・別紙2の申込書にご記入の上、Faxまたは郵送にて、申込みください。
- ・日程等を調整し、ご希望に沿えない場合はお断りすることがあります。

7 申込先

広島県立美術館 学芸課 森
〒730-0014 広島市中区上幟町 2-22
Tel. 082-221-6246/Fax 082-223-1444

(別紙1)

令和2年度 広島県立美術館 出張講座 実施メニュー

A コレクション・トーク

【日本の洋画】

- 1 風景画を楽しむ 講師：主任学芸員 角田 新

小林和作や中西利雄など、当館の所蔵する作家には魅力的な風景画を描いた画家が数多くいます。しかし一口に風景画といっても、その捉え方や切り口、そこから見えてくる世界などは、とても幅広く、それぞれに魅力的です。そうした作品の楽しみ方や読み解いていく手がかりなどを当館の所蔵する近代洋画の代表作からご紹介します。
- 2 水彩画の魅力 講師：主任学芸員 角田 新

南薫造や中西利雄など、当館の所蔵する作家には水彩画の普及に大きく貢献した作家が少なくありません。水彩画はその手軽さから、油絵などよりも1段低い表現とみられがちですが、実際には水彩画ならではの工夫や魅力にあふれています。油絵の力強さにも負けない水彩画を求めた中西利雄、水彩らしい柔らかな表現を追求した南薫造など、当館の所蔵する水彩の作品を通して、水彩に取り組んだ人々の魅力あふれる人物像にも触れながら、水彩画の魅力をご紹介します。
- 3 自画像の魅力 講師：主任学芸員 藤崎 綾

鬚光や岸田劉生、佐伯祐三、萬鉄五郎など、日本には魅力的な自画像を描いた画家が数多くいます。肖像画のなかでもひととき魅力的な画家の自画像を、近代洋画の代表作を中心にをご紹介します。①一般対象 ②子ども対象 の2種があります。
- 4 絵画の探検 ～楽しみ方のヒント～ 講師：主任学芸員 藤崎 綾

一つの作品をじっくりと見ることで初めてわかる絵の魅力。当館の所蔵品を中心に、鑑賞の楽しさが見つかるヒントになるかもしれない、いくつかのポイントをご紹介します。主に児童・生徒対象です。

【日本画】

- 5 岡岷山と広島ゆかりの絵画 講師：学芸員 隅川明宏

広島城下の文化で最も有力な担い手は、広島藩主浅野家や広島藩士らでした。なかでも絵画では岡岷山(1734~1806)の名声が別格です。彼らは、どんな絵を見て、求め、描いたのでしょうか。岷山や広島ゆかりの絵画作品とそれらの関係をみてみます。

【西洋美術】

- 6 ダリって誰？ 講師：主任学芸員 山下寿水

20世紀を代表する奇想の画家、サルバドール・ダリ(1904-1989)。広島県立美術館所蔵の大作「ヴィーナスの夢」を中心に、「無意識」の世界を描き続けたダリの画業をご紹介します。

7 戦争は美術をいかに変えたか 講師：主任学芸員 山下寿水

1914年に勃発した第一次世界大戦は、未曾有の被害をヨーロッパにもたらしました。多くの芸術家たちも戦争に参加し、その体験は近代美術に大きな影響を及ぼします。ダダやシュルレアリスム、新即物主義といった新しい芸術運動が生まれた流れをたどります。

【工芸】

8 色絵馬ものがたり 講師：学芸員 岡地智子

当館のマスコットの存在でもある「伊万里 柿右衛門様式 色絵馬」。江戸時代の初め、朝鮮半島や中国の技術を取り入れて生まれた色絵馬は、遠く海を渡りヨーロッパの人々を魅了しました。色絵馬の大いなる旅ものがたりを中心に、伊万里焼の歴史をご紹介します。

9 広島がはぐくんだ伝統工芸「高盛絵」 講師：学芸員 岡地智子

「高盛絵」は漆と砥の粉を練り合わせたペーストを器面にのせ、立体的に盛り上げ、最後に色漆を塗って仕上げる技法です。江戸後期に名古屋で生まれたこの漆芸技法は、明治に入り、三代金城一國齋が広島で完成させました。当館所蔵の高盛絵作品を中心に、その技法と歴史をご紹介します。

10 シルクロードのくらしと工芸を知る講座 講師：学芸課長 福田浩子

当館は18-20世紀中央アジアで作られ、使われてきた工芸品を約1000点所蔵しています。シルクロードで花開いた民族衣装やジュエリーなど工芸品、そして人々の生活など、現地写真をふんだんにご覧いただきながらご紹介します。（年間3会場限定）

【その他】

11 美術館のおしごと 講師：学芸課長 福田浩子

美術館では様々な種類のスペシャリストたちが働いています。この講座では、美術館学芸員という仕事を紹介すると共に、美術館で働くその他の人々にアプローチします。児童生徒向けキャリア講座としてもご活用ください。※こども向けですが、一般の方でも大丈夫です。

12 話しながら見てみよう 一みんな楽しむ美術鑑賞一 講師：学芸員 森 万由子

美術鑑賞の楽しみ方は、いろいろです。一人でじっくり作品と向き合うのも良いですが、ときには人と一緒に見ることで、それまで気付かなかった魅力を発見できることもあるでしょう。本講座では、当館の所蔵品をスライドで映し、対話型鑑賞を行います。学芸員のガイドに沿って、感じたことや気付いたことを話し合いながら、みんなで作品を楽しんでみませんか。（定員20名まで）

13 名勝縮景園の歴史と美意識 講師：学芸員 隅川明宏

県立美術館に隣接する名勝縮景園は、1620（元和6年）に広島藩主浅野長晟が上田宗箇に命じて作庭させ、昭和15年（1940）に浅野侯爵家から広島県に寄贈された池泉回遊式の名庭園です。関連作品を交えて、およそ400年の歩みを紹介します。

14 浅野家の宝物館「観古館」と県立美術館の歴史 講師：主任学芸員 神内有理

「観古館」とは、縮景園の一角に、大正2（1913）年に旧広島藩主・浅野長勲により設立された美術館です。この設立は、私立の美術館としては全国的に極めて早く、浅野家の文化に対する見識の高さを示しますが、残念ながら原爆によって消失しました。本講座では、当時の様子を伝える資料類から、戦前の文化都市としての広島の姿をご紹介します。

B 特別展のためのとくべつ講座

15 『ヨーロッパの宝石箱 リヒテンシュタイン侯爵家の至宝展』展を楽しむ

講師：主任学芸員 山下 寿水

展覧会会期：令和2年9月18日（金）～令和2年11月29日（日） ※予定

リヒテンシュタイン侯爵家のコレクションは、その華麗さから宝石箱にもたとえられます。北方ルネサンス、バロック、ロココを中心とする油彩画と、侯爵たちが愛し収集した東洋・西洋の陶磁器、合わせて約130点を紹介します。この本展をより楽しんでいただけるよう、静物画や宗教画など、出品作の見方や時代背景をご案内します。

16 『浦上コレクション 北斎漫画』展を読む

講師：学芸員 隅川明宏

展覧会会期：令和2年12月10日（木）～1月31日（日） ※予定

『北斎漫画』は、1814（文化11）年から1878（明治11）年までに全15編が絵手本として刊行されました。葛飾北斎（1760～1849）の代表作で、総頁数は883頁、収録された図版数は3800図に及びます。展覧会では、世界一の『北斎漫画』コレクションとして知られる浦上コレクションによって、その魅力を紹介します。

17 『第67回日本伝統工芸展』

講師：学芸員 岡地智子

展覧会会期：令和3年2月17日（水）～3月7日（日） ※予定

本展では、人間国宝から新進気鋭の若手まで、陶芸・染織・漆芸・金工・木竹工・人形・諸工芸のそれぞれの分野で活躍する作家の作品が集います。展覧会をさらに楽しんでいただけるよう、伝統工芸品の素材や作り方などをご紹介します。